

苫小牧市公共下水道

事業計画変更書

令和7年度

苫小牧市

苫上下下第503号
令和8年2月17日

北海道知事 鈴木 直道 様

苫小牧市下水道事業
苫小牧市長 金澤 俊

苫小牧市公共下水道事業計画変更について（協議）

標記について、下水道法第4条第2項の規定により、別添のとおり関係書類並びに
図面を添えて協議いたします。

下水道法 協議回答

協議回答日：令和8年3月2日

協議回答番号：都環第1317号

苫小牧市公共下水道事業計画変更書

目次

1. 苫小牧市公共下水道事業計画変更書	1
2. 苫小牧市公共下水道事業計画変更 様式 1	43
3. 苫小牧市公共下水道事業計画変更 様式 2	47
4. 苫小牧市公共下水道事業計画変更 様式 3	51

1. 苫小牧市公共下水道事業計画変更書

公共下水道管理者 苫小牧市長 金澤 俊
工事着工の年月日 昭和 27年4月 1日
工事完成の予定年月日 令和 8年3月 31日
令和 13年3月 31日

(第 1-1 表)

予 定 処 理 区 域 調 書			
処理区域の面積	5,317.1 ヘクタール	処理区域内の地名	北海道苫小牧市 区域は下水道計画 一般図表示のとおり
処理区の名称	面積 (単位ヘクタール)	摘要	
高砂処理区	1,797.5	分流式 一部合流式	
西町処理区	2,079.1	分流式 一部合流式	
勇払処理区	1,440.5	分流式	
合計	5,317.1		

(第 1-2 表)

予 定 排 水 区 域 調 書			
排水区域の面積	5,055.2 ヘクタール	排水区域内の地名	北海道苫小牧市 区域は下水道計画 一般図表示のとおり
排水区の名称	面積 (単位ヘクタール)	摘要	
三光町排水区	23.6	分流式	
日の出町排水区	22.9	// (10年確率降雨対象排水区)	
双葉町排水区	58.7	// (10年確率降雨対象排水区)	
船見町排水区	28.0	// (10年確率降雨対象排水区)	
美園町第1排水区	11.9	// (10年確率降雨対象排水区)	
美園町第2排水区	30.7	// (10年確率降雨対象排水区)	

排水区の名称	面積 (単位ヘクタール)	摘要
清水町排水区	35.5	分流式 (10年確率降雨対象排水区)
幌内川第1排水区	12.2	〃
幌内川第2排水区	55.2	〃 (10年確率降雨対象排水区)
幌内川第3排水区	55.3	〃
幌内川第4-1排水区	46.8	〃 (10年確率降雨対象排水区)
幌内川第4-2排水区	4.6	〃
幌内川第5-1排水区	49.5	〃 (10年確率降雨対象排水区)
幌内川第5-2排水区	1.5	〃
幌内川第6排水区	40.5	〃
幌内川第7排水区	98.8	〃 (10年確率降雨対象排水区)
幌内川第8排水区	16.2	〃
幌内川第9排水区	4.3	〃
幌内川第10排水区	18.5	〃
幌内川第11排水区	56.1	〃
幌内川第12排水区	9.5	〃
幌内川第13排水区	7.7	〃
木場町排水区	76.4	〃 (10年確率降雨対象排水区)
有珠川第1排水区	9.5	〃

排水区の名称	面積 (単位ヘクタール)	摘要
有珠川第2排水区	10.1	分流式
有珠川第3排水区	6.8	〃
有珠川第4排水区	10.0	〃
有珠川第5排水区	7.5	〃
有珠川第6排水区	3.7	〃 (10年確率降雨対象排水区)
有珠川第7排水区	7.3	〃 (10年確率降雨対象排水区)
有珠川第8排水区	4.9	〃
有珠川第9排水区	7.8	〃 (10年確率降雨対象排水区)
有珠川第10排水区	6.1	〃 (10年確率降雨対象排水区)
有珠川第12排水区	8.6	〃 (10年確率降雨対象排水区)
有珠川第13排水区	11.4	〃 (10年確率降雨対象排水区)
有珠川第14排水区	7.9	〃
有珠川第15排水区	10.9	〃
有珠川第16排水区	19.5	〃
有珠川第17排水区	42.4	〃
有珠川第18排水区	4.0	〃 (10年確率降雨対象排水区)
有珠川第19排水区	3.8	〃 (10年確率降雨対象排水区)
有珠川第20排水区	2.4	〃

排水区の名称	面積 (単位ヘクタール)	摘要
有珠川第 21 排水区	3.0	分流式
有珠川第 22 排水区	4.7	〃
有珠川第 23 排水区	15.8	〃
有珠川第 24 排水区	7.2	〃
有珠川第 25 排水区	3.8	〃
有珠川第 26 排水区	4.0	〃
有珠川第 27 排水区	31.7	〃
有珠川第 28 排水区	15.5	〃
有珠川第 29 排水区	1.6	〃
有珠川第 30 排水区	2.8	〃
有珠川第 31 排水区	2.3	〃
有珠川第 32 排水区	11.6	〃
有珠川第 33 排水区	5.4	〃
有珠川第 34 排水区	4.1	〃
有珠川第 35 排水区	0.8	〃
有珠川第 36 排水区	27.0	〃
小糸魚川第 1 排水区	24.8	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第 2 排水区	22.4	〃 (10 年確率降雨対象排水区)

排水区の名称	面積 (単位ヘクタール)	摘要
小糸魚川第 3 排水区	44.1	分流式 (10 年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第 5-1 排水区	17.6	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第 5-2 排水区	7.8	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第 6-1 排水区	9.9	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第 6-2 排水区	7.8	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第 6-3 排水区	9.0	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第 7 排水区	12.4	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第 8 排水区	21.4	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第 9 排水区	15.0	〃
小糸魚川第 12 排水区	0.5	〃
小糸魚川第 13-1 排水区	1.7	〃
小糸魚川第 13-2 排水区	1.5	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第 13-3 排水区	1.0	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第 14 排水区	4.1	〃
小糸魚川第 15 排水区	4.5	〃
糸井第 1-1 排水区	29.3	〃
糸井第 1-2 排水区	10.1	〃
糸井第 1-3 排水区	10.6	〃

排水区の名称	面積 (単位ヘクタール)	摘要
糸井第 2 排水区	15.6	分流式
糸井第 2-1 排水区	37.9	// (10 年確率降雨対象排水区)
糸井第 3-1 排水区	13.4	//
糸井第 3-2 排水区	33.4	//
糸井第 4-1 排水区	6.5	//
糸井第 4-2 排水区	30.3	//
糸井第 5-1 排水区	31.5	// (10 年確率降雨対象排水区)
糸井第 5-2 排水区	18.9	//
糸井第 5-3 排水区	5.5	//
糸井第 5-4 排水区	8.9	//
糸井第 5-5 排水区	11.1	//
糸井第 6-1 排水区	6.6	//
糸井第 6-2 排水区	14.7	//
糸井第 6-3 排水区	2.5	// (10 年確率降雨対象排水区)
糸井第 6-4 排水区	8.5	//
糸井第 6-5 排水区	4.4	//
糸井第 6-6 排水区	4.4	//
糸井第 6-7 排水区	3.5	//

排水区の名称	面積 (単位ヘクタール)	摘要
糸井第 6-8 排水区	15.3	分流式
糸井第 6-9 排水区	2.1	〃
糸井第 6-10 排水区	2.1	〃
糸井第 6-11 排水区	6.0	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
糸井第 6-12 排水区	3.3	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
糸井第 6-13 排水区	3.2	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
糸井第 6-14 排水区	0.5	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
糸井第 6-15 排水区	52.2	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
小泉の沢川第 1 排水区	17.0	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
小泉の沢川第 2-1 排水区	6.0	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
小泉の沢川第 2-2 排水区	16.6	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
小泉の沢川第 3 排水区	29.6	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
小泉の沢川第 5 排水区	6.3	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
小泉の沢川第 6 排水区	4.1	〃
小泉の沢川第 7 排水区	2.1	〃
小泉の沢川第 8 排水区	1.0	〃
小泉の沢川第 9 排水区	2.4	〃
小泉の沢川第 10 排水区	2.9	〃

排水区の名称	面積 (単位ヘクタール)	摘要
小泉の沢川第 11 排水区	4.5	分流式 (10 年確率降雨対象排水区)
小泉の沢川第 12 排水区	1.7	〃
錦岡第 1 排水区	78.9	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
錦多峰川第 1 排水区	70.6	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
錦多峰川第 2 排水区	61.9	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
錦多峰川第 3 排水区	62.8	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
錦多峰川第 4 排水区	17.8	〃
錦多峰川第 5 排水区	16.4	〃
錦多峰川第 6 排水区	5.7	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
錦多峰川第 7 排水区	65.3	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
錦多峰川第 8 排水区	11.0	〃
錦多峰川第 10 排水区	23.6	〃
錦多峰川第 11 排水区	54.3	〃
錦多峰川第 12 排水区	8.6	〃 自然流出区域 2.0 ha 含む (10 年確率降雨対象排水区)
錦多峰川第 13 排水区	2.0	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
錦岡川第 1 排水区	4.5	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
錦岡川第 2 排水区	7.8	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
錦岡川第 3 排水区	7.9	〃 (10 年確率降雨対象排水区)

排水区の名称	面積 (単位ヘクタール)	摘要
錦岡川第4排水区	8.3	分流式 (10年確率降雨対象排水区)
錦岡川第5排水区	9.5	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦岡川第6排水区	9.9	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦岡川第7排水区	5.5	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦岡川第8排水区	8.7	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦岡川第9排水区	6.9	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦岡川第10排水区	5.0	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦岡川第11排水区	5.2	〃
錦岡川第12排水区	0.2	〃
錦岡川第13排水区	20.8	〃
錦岡川第14排水区	11.2	〃
錦岡川第16排水区	13.6	〃 (10年確率降雨対象排水区)
覚生川第3排水区	3.1	〃
覚生川第4排水区	1.9	〃
覚生川第5排水区	7.0	〃
覚生川第6排水区	3.4	〃
覚生川第7排水区	4.4	〃
覚生川第8排水区	5.6	〃

排水区の名称	面積 (単位ヘクタール)	摘要
覚生川第9排水区	1.7	分流式
覚生川第10排水区	3.5	〃
覚生川第11排水区	4.0	〃
覚生川第12排水区	7.0	〃
覚生川第13排水区	11.6	〃
覚生川第14排水区	9.2	〃
勇払第1排水区	3.9	〃
勇払第2排水区	11.1	〃
勇払第3排水区	5.4	〃
勇払第4排水区	69.4	〃 (10年確率降雨対象排水区)
勇払第6排水区	16.2	〃
勇払第7排水区	8.3	〃
勇払第8排水区	11.3	〃 (10年確率降雨対象排水区)
勇払第9排水区	2.3	〃 (10年確率降雨対象排水区)
沼ノ端第1排水区	94.1	〃 (10年確率降雨対象排水区)
沼ノ端第2排水区	31.3	〃 (10年確率降雨対象排水区)
沼ノ端第3排水区	18.2	〃 (10年確率降雨対象排水区)
沼ノ端第4排水区	16.5	〃 (10年確率降雨対象排水区)

排水区の名称	面積 (単位ヘクタール)	摘要
沼ノ端第5排水区	6.7	分流式 (10年確率降雨対象排水区)
沼ノ端第6排水区	84.5	〃 (10年確率降雨対象排水区)
沼ノ端第7排水区	55.1	〃 (10年確率降雨対象排水区)
沼ノ端第8排水区	60.4	〃 (10年確率降雨対象排水区)
沼ノ端第9排水区	79.1	〃 (10年確率降雨対象排水区)
沼ノ端第10排水区	41.9	〃
沼ノ端第11排水区	18.4	〃
沼ノ端第12排水区	71.4	〃
沼ノ端第13排水区	30.7	〃
沼ノ端第14排水区	56.1	〃
沼ノ端第15排水区	23.1	〃
沼ノ端第16排水区	57.4	〃
沼ノ端第17排水区	18.3	〃
沼ノ端第18排水区	9.3	〃
沼ノ端第19排水区	143.6	〃
沼ノ端第20排水区	7.3	〃
明野第1排水区	6.5	〃
明野第2排水区	7.7	〃

排水区の名称	面積 (単位ヘクタール)	摘要
明野第3排水区	114.6	分流式
明野第4排水区	61.4	// (10年確率降雨対象排水区)
明野第5排水区	105.3	// (10年確率降雨対象排水区)
明野第6排水区	79.4	// (10年確率降雨対象排水区)
一本松第1排水区	22.3	//
一本松第2排水区	88.4	// (10年確率降雨対象排水区)
一本松第3排水区	4.4	// (10年確率降雨対象排水区)
一本松第4排水区	12.9	// (10年確率降雨対象排水区)
汐見町第1排水区	20.0	//
汐見町第2排水区	15.9	//
汐見町第3排水区	11.5	//
汐見町第4排水区	8.6	//
汐見町第5排水区	8.4	//
汐見町第6排水区	10.1	//
汐見町第7排水区	11.3	//
汐見町第8排水区	3.5	//
汐見町第9排水区	12.7	// (10年確率降雨対象排水区)
汐見町第10排水区	1.5	// (10年確率降雨対象排水区)

排水区の名称	面積 (単位ヘクタール)	摘要
汐見町第 11 排水区	15.6	分流式 (10 年確率降雨対象排水区)
勇払川第 1 排水区	39.9	〃
勇払川第 2 排水区	56.3	〃
勇払川第 3 排水区	16.0	〃
勇払自然流出区域	6.7	〃
明野川自然流出区域	25.2	〃
沼ノ端自然流出区域	17.4	〃
苫小牧川第 1 排水区	95.9	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
苫小牧川第 2 排水区	68.1	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
苫小牧川第 3 排水区	65.5	〃 (10 年確率降雨対象排水区)
苫小牧川第 3 排水区	69.3	合流式
苫小牧川第 4 排水区	33.0	〃
中央第 1 排水区	249.9	〃
中央第 2 排水区	190.1	〃
合計	5,055.2	

(第2表)

計 画 降 雨 調 書			
処理区又は排水区の名称	計画降雨		摘要
	一時間当たりの降雨量 (単位ミリメートル)	確率年	
高砂処理区	33.7	5年	
西町処理区	33.7	5年	
三光町排水区	33.7	5年	
日の出町排水区	53.6	10年	
双葉町排水区	53.6	10年	
船見町排水区	53.6	10年	
美園町第1排水区	53.6	10年	
美園町第2排水区	53.6	10年	
清水町排水区	53.6	10年	
幌内川第1排水区	33.7	5年	
幌内川第2排水区	53.6	10年	
幌内川第3排水区	33.7	5年	
幌内川第4-1排水区	53.6	10年	
幌内川第4-2排水区	33.7	5年	
幌内川第5-1排水区	53.6	10年	
幌内川第5-2排水区	33.7	5年	
幌内川第6排水区	33.7	5年	
幌内川第7排水区	53.6	10年	
幌内川第8排水区	33.7	5年	
幌内川第9排水区	33.7	5年	
幌内川第10排水区	33.7	5年	
幌内川第11排水区	33.7	5年	
幌内川第12排水区	33.7	5年	
幌内川第13排水区	33.7	5年	
木場町排水区	53.6	10年	
有珠川第1排水区	33.7	5年	
有珠川第2排水区	33.7	5年	
有珠川第3排水区	33.7	5年	
有珠川第4排水区	33.7	5年	
有珠川第5排水区	33.7	5年	
有珠川第6排水区	53.6	10年	

処理区又は排水区の名称	計画降雨		摘要
	一時間当たりの降雨量 (単位ミリメートル)	確率年	
有珠川第7排水区	53.6	10年	
有珠川第8排水区	33.7	5年	
有珠川第9排水区	53.6	10年	
有珠川第10排水区	53.6	10年	
有珠川第12排水区	53.6	10年	
有珠川第13排水区	53.6	10年	
有珠川第14排水区	33.7	5年	
有珠川第15排水区	33.7	5年	
有珠川第16排水区	33.7	5年	
有珠川第17排水区	33.7	5年	
有珠川第18排水区	53.6	10年	
有珠川第19排水区	53.6	10年	
有珠川第20排水区	33.7	5年	
有珠川第21排水区	33.7	5年	
有珠川第22排水区	33.7	5年	
有珠川第23排水区	33.7	5年	
有珠川第24排水区	33.7	5年	
有珠川第25排水区	33.7	5年	
有珠川第26排水区	33.7	5年	
有珠川第27排水区	33.7	5年	
有珠川第28排水区	33.7	5年	
有珠川第29排水区	33.7	5年	
有珠川第30排水区	33.7	5年	
有珠川第31排水区	33.7	5年	
有珠川第32排水区	33.7	5年	
有珠川第33排水区	33.7	5年	
有珠川第34排水区	33.7	5年	
有珠川第35排水区	33.7	5年	
有珠川第36排水区	33.7	5年	
小糸魚川第1排水区	53.6	10年	
小糸魚川第2排水区	53.6	10年	
小糸魚川第3排水区	53.6	10年	
小糸魚川第5-1排水区	53.6	10年	
小糸魚川第5-2排水区	53.6	10年	

処理区又は排水区の名称	計画降雨		摘要
	一時間当たりの降雨量 (単位ミリメートル)	確率年	
小糸魚川第 6-1 排水区	53.6	10 年	
小糸魚川第 6-2 排水区	53.6	10 年	
小糸魚川第 6-3 排水区	53.6	10 年	
小糸魚川第 7 排水区	53.6	10 年	
小糸魚川第 8 排水区	53.6	10 年	
小糸魚川第 9 排水区	33.7	5 年	
小糸魚川第 12 排水区	33.7	5 年	
小糸魚川第 13-1 排水区	33.7	5 年	
小糸魚川第 13-2 排水区	53.6	10 年	
小糸魚川第 13-3 排水区	53.6	10 年	
小糸魚川第 14 排水区	33.7	5 年	
小糸魚川第 15 排水区	33.7	5 年	
糸井第 1-1 排水区	33.7	5 年	
糸井第 1-2 排水区	33.7	5 年	
糸井第 1-3 排水区	33.7	5 年	
糸井第 2 排水区	33.7	5 年	
糸井第 2-1 排水区	53.6	10 年	
糸井第 3-1 排水区	33.7	5 年	
糸井第 3-2 排水区	33.7	5 年	
糸井第 4-1 排水区	33.7	5 年	
糸井第 4-2 排水区	33.7	5 年	
糸井第 5-1 排水区	53.6	10 年	
糸井第 5-2 排水区	33.7	5 年	
糸井第 5-3 排水区	33.7	5 年	
糸井第 5-4 排水区	33.7	5 年	
糸井第 5-5 排水区	33.7	5 年	
糸井第 6-1 排水区	33.7	5 年	
糸井第 6-2 排水区	33.7	5 年	
糸井第 6-3 排水区	53.6	10 年	
糸井第 6-4 排水区	33.7	5 年	
糸井第 6-5 排水区	33.7	5 年	
糸井第 6-6 排水区	33.7	5 年	
糸井第 6-7 排水区	33.7	5 年	
糸井第 6-8 排水区	33.7	5 年	

処理区又は排水区の名称	計画降雨		摘要
	一時間当たりの降雨量 (単位ミリメートル)	確率年	
糸井第 6-9 排水区	33.7	5 年	
糸井第 6-10 排水区	33.7	5 年	
糸井第 6-11 排水区	53.6	10 年	
糸井第 6-12 排水区	53.6	10 年	
糸井第 6-13 排水区	53.6	10 年	
糸井第 6-14 排水区	53.6	10 年	
糸井第 6-15 排水区	53.6	10 年	
小泉の沢川第 1 排水区	53.6	10 年	
小泉の沢川第 2-1 排水区	53.6	10 年	
小泉の沢川第 2-2 排水区	53.6	10 年	
小泉の沢川第 3 排水区	53.6	10 年	
小泉の沢川第 5 排水区	53.6	10 年	
小泉の沢川第 6 排水区	33.7	5 年	
小泉の沢川第 7 排水区	33.7	5 年	
小泉の沢川第 8 排水区	33.7	5 年	
小泉の沢川第 9 排水区	33.7	5 年	
小泉の沢川第 10 排水区	33.7	5 年	
小泉の沢川第 11 排水区	53.6	10 年	
小泉の沢川第 12 排水区	33.7	5 年	
錦岡第 1 排水区	53.6	10 年	
錦多峰川第 1 排水区	53.6	10 年	
錦多峰川第 2 排水区	53.6	10 年	
錦多峰川第 3 排水区	53.6	10 年	
錦多峰川第 4 排水区	33.7	5 年	
錦多峰川第 5 排水区	33.7	5 年	
錦多峰川第 6 排水区	53.6	10 年	
錦多峰川第 7 排水区	53.6	10 年	
錦多峰川第 8 排水区	33.7	5 年	
錦多峰川第 10 排水区	33.7	5 年	
錦多峰川第 11 排水区	33.7	5 年	
錦多峰川第 12 排水区	53.6	10 年	
錦多峰川第 13 排水区	53.6	10 年	
錦岡川第 1 排水区	53.6	10 年	
錦岡川第 2 排水区	53.6	10 年	

処理区又は排水区の名称	計画降雨		摘要
	一時間当たりの降雨量 (単位ミリメートル)	確率年	
錦岡川第3排水区	53.6	10年	
錦岡川第4排水区	53.6	10年	
錦岡川第5排水区	53.6	10年	
錦岡川第6排水区	53.6	10年	
錦岡川第7排水区	53.6	10年	
錦岡川第8排水区	53.6	10年	
錦岡川第9排水区	53.6	10年	
錦岡川第10排水区	53.6	10年	
錦岡川第11排水区	33.7	5年	
錦岡川第12排水区	33.7	5年	
錦岡川第13排水区	33.7	5年	
錦岡川第14排水区	33.7	5年	
錦岡川第16排水区	53.6	10年	
覚生川第3排水区	33.7	5年	
覚生川第4排水区	33.7	5年	
覚生川第5排水区	33.7	5年	
覚生川第6排水区	33.7	5年	
覚生川第7排水区	33.7	5年	
覚生川第8排水区	33.7	5年	
覚生川第9排水区	33.7	5年	
覚生川第10排水区	33.7	5年	
覚生川第11排水区	33.7	5年	
覚生川第12排水区	33.7	5年	
覚生川第13排水区	33.7	5年	
覚生川第14排水区	33.7	5年	
勇払第1排水区	33.7	5年	
勇払第2排水区	33.7	5年	
勇払第3排水区	33.7	5年	
勇払第4排水区	53.6	10年	
勇払第6排水区	33.7	5年	
勇払第7排水区	33.7	5年	
勇払第8排水区	53.6	10年	
勇払第9排水区	53.6	10年	
沼ノ端第1排水区	53.6	10年	

処理区又は排水区の名称	計画降雨		摘要
	一時間当たりの降雨量 (単位ミリメートル)	確率年	
沼ノ端第2排水区	53.6	10年	
沼ノ端第3排水区	53.6	10年	
沼ノ端第4排水区	53.6	10年	
沼ノ端第5排水区	53.6	10年	
沼ノ端第6排水区	53.6	10年	
沼ノ端第7排水区	53.6	10年	
沼ノ端第8排水区	53.6	10年	
沼ノ端第9排水区	53.6	10年	
沼ノ端第10排水区	33.7	5年	
沼ノ端第11排水区	33.7	5年	
沼ノ端第12排水区	33.7	5年	
沼ノ端第13排水区	33.7	5年	
沼ノ端第14排水区	33.7	5年	
沼ノ端第15排水区	33.7	5年	
沼ノ端第16排水区	33.7	5年	
沼ノ端第17排水区	33.7	5年	
沼ノ端第18排水区	33.7	5年	
沼ノ端第19排水区	33.7	5年	
沼ノ端第20排水区	33.7	5年	
明野第1排水区	33.7	5年	
明野第2排水区	33.7	5年	
明野第3排水区	33.7	5年	
明野第4排水区	53.6	10年	
明野第5排水区	53.6	10年	
明野第6排水区	53.6	10年	
一本松第1排水区	33.7	5年	
一本松第2排水区	53.6	10年	
一本松第3排水区	53.6	10年	
一本松第4排水区	53.6	10年	
汐見町第1排水区	33.7	5年	
汐見町第2排水区	33.7	5年	
汐見町第3排水区	33.7	5年	
汐見町第4排水区	33.7	5年	
汐見町第5排水区	33.7	5年	

処理区又は排水区の名称	計画降雨		摘要
	一時間当たりの降雨量 (単位ミリメートル)	確率年	
汐見町第 6 排水区	33.7	5 年	
汐見町第 7 排水区	33.7	5 年	
汐見町第 8 排水区	33.7	5 年	
汐見町第 9 排水区	53.6	10 年	
汐見町第 10 排水区	53.6	10 年	
汐見町第 11 排水区	53.6	10 年	
勇払川第 1 排水区	33.7	5 年	
勇払川第 2 排水区	33.7	5 年	
勇払川第 3 排水区	33.7	5 年	
勇払自然流出区域	33.7	5 年	
明野川自然流出区域	33.7	5 年	
沼ノ端自然流出区域	33.7	5 年	
苫小牧川第 1 排水区	53.6	10 年	
苫小牧川第 2 排水区	53.6	10 年	
苫小牧川第 3 排水区	53.6	10 年	分流式 分流区域①西町 JR 北側 分流区域②西町 JR 北側 地区は下水道計画一般図 表示のとおり
	33.7	5 年	合流式(西町処理区) 合流区域西町 JR 北側 地区は下水道計画一般図 表示のとおり
苫小牧川第 4 排水区	33.7	5 年	合流式(西町処理区)
中央第 1 排水区	33.7	5 年	合流式(高砂処理区)
中央第 2 排水区	33.7	5 年	合流式(高砂処理区)

(第3表)

吐 口 調 書							
処理区 の名称	主要な吐 口の種類	主要な吐口の 番号又は名称	主要な吐 口の位置	計画放流量 (m ³ /sec)	放流先 の名称	放流先 の水位	摘要
高砂処理区	合流式 雨水吐	太平洋 吐口 No. 1	苫小牧市 高砂町2丁目	10.753	太平洋		スクリーン設置
	処理施設	高砂 第2放流渠	苫小牧市 高砂町2丁目	0.412	木場町幹線	LWL -2.76	
	合流式 雨水吐	太平洋 吐口 No. 16	苫小牧市 汐見町3丁目	2.984	太平洋		スクリーン設置
	合流式 雨水吐	太平洋 吐口 No. 17	苫小牧市 汐見町3丁目	5.569	太平洋		スクリーン設置
	合流式 雨水吐	太平洋 吐口 No. 18	苫小牧市 汐見町3丁目	13.026	太平洋		スクリーン設置
	分流式 雨水管渠	三光町 吐口 No. 1	苫小牧市 日の出町1丁目	1.106	幌内川		
	分流式 雨水管渠	日の出町 吐口 No. 1	苫小牧市 日の出町1丁目	2.217	幌内川		10年確率降雨
	分流式 雨水管渠	双葉町 吐口 No. 1	苫小牧市 日の出町1丁目	5.501	幌内川		10年確率降雨
	分流式 雨水管渠	船見町 吐口 No. 1	苫小牧市 入船町2丁目	2.274	幌内川		10年確率降雨
	分流式 雨水管渠	美園町 吐口 No. 2	苫小牧市 美園町1丁目	1.391	幌内川		10年確率降雨
	分流式 雨水管渠	苫小牧川 吐口 No. 6	苫小牧市 清水町4丁目	3.386	苫小牧川		10年確率降雨
	分流式 雨水管渠	幌内川 吐口 No. 2	苫小牧市 新明町4丁目	4.765	幌内川		10年確率降雨
	分流式 雨水管渠	幌内川 吐口 No. 3	苫小牧市 明野新町6丁目	2.489	幌内川		
	分流式 雨水管渠	幌内川 吐口 No. 4-1	苫小牧市 明野新町3丁目	3.885	幌内川		10年確率降雨
	分流式 雨水管渠	幌内川 吐口 No. 5-1	苫小牧市 明野新町2丁目	4.116	幌内川		10年確率降雨
	分流式 雨水管渠	幌内川 吐口 No. 6	苫小牧市 柳町4丁目	2.066	幌内川		
	分流式 雨水管渠	幌内川 吐口 No. 7	苫小牧市 美園町1丁目	7.656	幌内川		10年確率降雨

処理区 の名称	主要な吐 口の種類	主要な吐口の 番号又は名称	主要な吐 口の位置	計画放流量 (m ³ /sec)	放流先 の名称	放流先 の水位	摘要
高砂処理区	分流式 雨水管渠	幌内川 吐口 No. 11	苫小牧市 三光町 1 丁目	3.190	幌内川		
	分流式 雨水管渠	明野川 吐口 No. 3	苫小牧市 あけぼの町 2 丁目	4.286	明野川		
	分流式 雨水管渠	明野川 吐口 No. 4	苫小牧市 明野元町 2 丁目	4.715	明野川		10 年確率降雨
	分流式 雨水管渠	明野川 吐口 No. 5	苫小牧市 明野元町 2 丁目	7.118	明野川		10 年確率降雨
	分流式 雨水管渠	明野川 吐口 No. 6	苫小牧市 明野元町 1 丁目	4.869	明野川		10 年確率降雨
	分流式 雨水管渠	汐見町 吐口 No. 1	苫小牧市 元中野 4 丁目	0.851	太平洋		
	分流式 雨水管渠	勇払川 吐口 No. 1	苫小牧市 字高丘	2.076	勇払川		
	分流式 雨水管渠	勇払川 吐口 No. 2	苫小牧市 あけぼの町 4 丁目	2.903	勇払川	HWL +7.18	点検方法：目視点検 点検頻度：年 1 回
西町処理区	処理施設	苫小牧川 吐口 No. 1	苫小牧市 元町 3 丁目	1.007	苫小牧川	LWL +2.00	
	合流式 雨水吐	苫小牧川 吐口 No. 2	苫小牧市 新富町 2 丁目 苫小牧市 元町 3 丁目	8.320 8.563	苫小牧川		スクリーン設置
	分流式 雨水管渠	苫小牧川 吐口 No. 3	苫小牧市 青葉町 2 丁目	6.293	苫小牧川		10 年確率降雨
	合流式 雨水吐	苫小牧川 吐口 No. 4	苫小牧市 啓北町 1 丁目	9.846	苫小牧川	HWL +5.42	スクリーン設置 点検方法：目視点検 点検頻度：年 1 回
	合流式 雨水吐	苫小牧川 吐口 No. 5	苫小牧市 啓北町 2 丁目	3.338	苫小牧川	HWL +6.38	スクリーン設置 点検方法：目視点検 点検頻度：年 1 回
	分流式 雨水管渠	木場町 吐口 No. 1	苫小牧市 浜町 1 丁目	12.965	太平洋		10 年確率降雨
	分流式 雨水管渠	有珠川 吐口 No. 17	苫小牧市 桜木町 4 丁目	2.354	苫小牧川		
	分流式 雨水管渠	有珠川 吐口 No. 27	苫小牧市 有珠の沢町 5 丁目	1.967	有珠川		
	分流式 雨水管渠	有珠川 吐口 No. 36	苫小牧市 日新町 5 丁目	1.375	豊木川		
	分流式 雨水管渠	小糸魚川 吐口 No. 1	苫小牧市 柏木町 3 丁目	2.995	小糸魚川		10 年確率降雨

処理区 の名称	主要な吐 口の種類	主要な吐口の 番号又は名称	主要な吐 口の位置	計画放流量 (m ³ /sec)	放流先 の名称	放流先 の水位	摘要
西町処理区	分流式 雨水管渠	小糸魚川 吐口 No. 2	苫小牧市 川沿町 4 丁目	2.801	小糸魚川		10 年確率降雨
	分流式 雨水管渠	小糸魚川 吐口 No. 3	苫小牧市 字糸井	3.926	小糸魚川		10 年確率降雨
	分流式 雨水管渠	小糸魚川 吐口 No. 8	苫小牧市 ときわ町 1 丁目	2.102	小糸魚川		10 年確率降雨
	分流式 雨水管渠	糸井 吐口 No. 1-1	苫小牧市 字糸井	1.904	小糸魚川		
	分流式 雨水管渠	糸井 吐口 No. 2-1	苫小牧市 字糸井	3.396	小泉の沢川		10 年確率降雨
	分流式 雨水管渠	糸井 吐口 No. 3-2	苫小牧市 有明町 2 丁目	1.445	太平洋		
	分流式 雨水管渠	糸井 吐口 No. 4-2	苫小牧市 光洋町 2 丁目	1.569	苫小牧川		
	分流式 雨水管渠	糸井 吐口 No. 5-1	苫小牧市 光洋町 1 丁目	2.519	苫小牧川		10 年確率降雨
	分流式 雨水管渠	糸井 吐口 No. 6-15	苫小牧市 しらかば町 3 丁目	4.449	小泉の沢川		10 年確率降雨
	分流式 雨水管渠	小泉の沢川 吐口 No. 3	苫小牧市 川沿町 1 丁目	4.102	小泉の沢川		10 年確率降雨
	分流式 雨水管渠	錦岡 吐口 No. 1	苫小牧市 字錦岡	8.832	太平洋		10 年確率降雨
	分流式 雨水管渠	錦多峰川 吐口 No. 1	苫小牧市 のぞみ町 2 丁目	6.680	錦多峰川		10 年確率降雨
	分流式 雨水管渠	錦多峰川 吐口 No. 2	苫小牧市 美原町 2 丁目	6.035	錦多峰川		10 年確率降雨
	分流式 雨水管渠	錦多峰川 吐口 No. 3	苫小牧市 美原町 2 丁目	4.735	錦多峰川		10 年確率降雨
	分流式 雨水管渠	錦多峰川 吐口 No. 7	苫小牧市 青雲町 1 丁目	6.441	錦多峰川	HWL +5.32	10 年確率降雨 点検方法：目視点検 点検頻度：年 1 回
	分流式 雨水管渠	錦多峰川 吐口 No. 10	苫小牧市 字錦岡	0.961	錦多峰川		
	分流式 雨水管渠	錦多峰川 吐口 No. 11	苫小牧市 字錦岡	0.951	錦多峰川		
	分流式 雨水管渠	錦岡川 吐口 No. 13	苫小牧市 字錦岡	1.609	錦岡川		

処理区 の名称	主要な吐 口の種類	主要な吐口の 番号又は名称	主要な吐 口の位置	計画放流量 (m ³ /sec)	放流先 の名称	放流先 の水位	摘要
勇払処理区	処理施設	太平洋 吐口 No. 10	苫小牧市 字勇払	0.225	太平洋	LWL -2.76	
	分流式 雨水管渠	勇払 吐口 No. 4	苫小牧市 字勇払	5.883	安平川		10年確率降雨
	分流式 雨水管渠	沼ノ端 吐口 No. 1	苫小牧市 字沼ノ端	7.023	明野川		10年確率降雨
	分流式 雨水管渠	沼ノ端 吐口 No. 2	苫小牧市 字沼ノ端	3.035	明野川		10年確率降雨
	分流式 雨水管渠	沼ノ端 吐口 No. 6	苫小牧市 拓勇西町2丁目	8.192	明野川		10年確率降雨
	分流式 雨水管渠	沼ノ端 吐口 No. 7	苫小牧市 拓勇西町3丁目	5.434	明野川		10年確率降雨
	分流式 雨水管渠	沼ノ端 吐口 No. 8	苫小牧市 拓勇西町6丁目	6.205	明野川		10年確率降雨
	分流式 雨水管渠	沼ノ端 吐口 No. 9	苫小牧市 字植苗	5.915	勇払川		10年確率降雨
	分流式 雨水管渠	沼ノ端 吐口 No. 10	苫小牧市 字沼ノ端	2.596	勇払川		
	分流式 雨水管渠	沼ノ端 吐口 No. 12	苫小牧市 字沼ノ端	3.240	勇払川		
	分流式 雨水管渠	沼ノ端 吐口 No. 13	苫小牧市 字沼ノ端	1.892	勇払川		
	分流式 雨水管渠	沼ノ端 吐口 No. 14	苫小牧市 字沼ノ端	2.850	勇払川		
	分流式 雨水管渠	沼ノ端 吐口 No. 15	苫小牧市 字沼ノ端	1.463	勇払川		
	分流式 雨水管渠	沼ノ端 吐口 No. 16	苫小牧市 字沼ノ端	2.978	勇払川		
	分流式 雨水管渠	沼ノ端 吐口 No. 19	苫小牧市 字沼ノ端	4.976	勇払川		
	分流式 雨水管渠	一本松 吐口 No. 1	苫小牧市 一本松町	1.719	幌内川		
	分流式 雨水管渠	一本松 吐口 No. 2	苫小牧市 字勇払	6.326	明野川		10年確率降雨

(第4-1表)

管 渠 調 書 (汚 水 管 及 び 合 流 管)				
処理区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位ミリメートル)	延長 (単位メートル)	点検箇所の数	摘要
高砂処理区	○ 200 ~ 2,500	32,740	4	内、合流管 8,330 m 方法：マンホール内からの管内 目視若しくは管口カメラ を用いる方法 頻度：5年に1回程度
	□ 1,800 × ~ 3,500 × 1,350 2,000	120	0	内、合流管 120 m
	小計	32,860	4	内、合流管 8,450 m
西町処理区	○ 150 ~ 1,350	38,390	7	内、合流管 630 m 方法：マンホール内からの管内 目視若しくは管口カメラ を用いる方法 頻度：5年に1回程度
	□ 1,800 × ~ 2,400 × 1,260 1,440	1,110	0	内、合流管 1,110 m
	小計	39,500	7	内、合流管 1,740 m
勇払処理区	○ 100 ~ 900	38,970	18	分流管 方法：マンホール内からの管内 目視若しくは管口カメラ を用いる方法 頻度：5年に1回程度
	小計	38,970	18	
合計		111,330	29	内、合流管 10,190 m

※表中管渠寸法は既設管寸法を掲載している。更新時には新計画に基づく必要寸法を精査して事業実施する。

※未整備のポンプ場およびポンプ所の吐出先は点検箇所から除いている。

※糸井中継ポンプ場はポンプの構造上硫化水素が発生しにくいいため、点検箇所に含まない。

(第 4-2 表)

管 渠 調 書 (雨 水 管)			
排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位ミリメートル)	延長 (単位メートル)	摘要
三光町排水区	○1,350	410	
	小計	410	
日の出町排水区	○1,650	260	
	小計	260	
双葉町排水区	○ 1,500 ~ 2,200	1,430	
	小計	1,430	
船見町排水区	○ 1,500 ~ 1,650	360	
	小計	360	
美園町第 2 排水区	○1,350	870	
	小計	870	
清水町排水区	□ $\begin{matrix} 2,200 & 2,800 \\ \times & \times \\ 600 \times 2 & 1,500 \end{matrix}$ ~	1,560	
	小計	1,560	
幌内川第 2 排水区	○ 2,000 ~ 2,200	930	
	小計	930	
幌内川第 3 排水区	○ 1,350 ~ 1,650	1,010	
	小計	1,010	

排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位ミリメートル)	延長 (単位メートル)	摘要
幌内川第 4-1 排水区	○ 1,650 ~ 2,000	760	
	小計	760	
幌内川第 5-1 排水区	○ 1,650 ~ 2,200	800	
	小計	800	
幌内川第 6 排水区	○ 1,350 ~ 1,500	700	
	小計	700	
幌内川第 7 排水区	○ 1,650 ~ 2,600	2,040	
	□ 1,800 × 1,800	480	
	小計	2,520	
幌内川第 11 排水区	○ 1,500 ~ 2,000	1,380	
	小計	1,380	
木場町排水区	○ 2,000 ~ 2,600	2,220	
	□ $\frac{2,800}{2,000} \times \frac{2,800}{2,520}$	190	
	小計	2,410	
有珠川第 17 排水区	○ 1,650 ~ 1,800	450	
	小計	450	
有珠川第 27 排水区	○ 1,000 × 1,100	240	
	小計	240	

排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位ミリメートル)	延長 (単位メートル)	摘要
有珠川第 36 排水区	○ 1,350 ~ 1,500	390	
	小計	390	
小糸魚川第 1 排水区	○1,800	150	
	小計	150	
小糸魚川第 2 排水区	○1,800	110	
	小計	110	
小糸魚川第 3 排水区	○ 1,200 ~ 1,800	620	
	小計	620	
小糸魚川第 8 排水区	○1,650	20	
	小計	20	
糸井第 1-1 排水区	○ 1,350 ~ 1,500	280	
	小計	280	
糸井第 2-1 排水区	○ 1,650 ~ 2,000	540	
	小計	540	
糸井第 3-2 排水区	○ 1,200 ~ 1,350	710	
	小計	710	
糸井第 4-2 排水区	○ 1,350 ~ 1,500	470	
	小計	470	

排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位ミリメートル)	延長 (単位メートル)	摘要
糸井第 5-1 排水区	○ 1,650 ~ 1,800	550	
	小計	550	
糸井第 6-15 排水区	□ 1,600 × ~ 1,900 × 1,600 1,900	710	
	小計	710	
小泉の沢川第 3 排水区	○ 1,800 ~ 2,000	110	
	小計	110	
錦岡第 1 排水区	□ 1,800 × ~ 4,200 × 1,500 1,700	1,500	
	小計	1,500	
錦多峰川第 1 排水区	○ 2,000 ~ 2,600	1,140	
	小計	1,140	
錦多峰川第 2 排水区	○ 1,800 ~ 2,400	1,040	
	小計	1,040	
錦多峰川第 3 排水区	○ 1,650 × 2,200	1,160	
	小計	1,160	
錦多峰川第 7 排水区	○ 1,800 × 2,400	630	
	小計	630	
錦多峰川第 10 排水区	○1,650	70	
	小計	70	

排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位ミリメートル)	延長 (単位メートル)	摘要
錦多峰川第 11 排水区	○ 1,500 ~ 2,000	610	
	小計	610	
錦岡川第 13 排水区	○ 1,650 ~ 1,800	600	
	小計	600	
勇払第 4 排水区	○1,650	170	
	□ $\begin{matrix} 2,500 & 3,700 \\ \times & \sim & \times \\ 1,500 & & 1,800 \end{matrix}$	1,940	
	小計	2,110	
沼ノ端第 1 排水区	○ 1,800 ~ 2,600	1,020	
	□ $\begin{matrix} 1,900 & 2,000 \\ \times & \sim & \times \\ 1,050 & & 1,050 \end{matrix}$	190	
	小計	1,210	
沼ノ端第 2 排水区	○1,650	110	
	小計	110	
沼ノ端第 6 排水区	○2,600	60	
	□ $\begin{matrix} 1,800 & 2,300 \\ \times & \sim & \times \\ 1,600 & & 2,200 \end{matrix}$	1,090	
	小計	1,150	
沼ノ端第 7 排水区	○2,400	30	
	□ $\begin{matrix} 1,800 & 2,100 \\ \times & \sim & \times \\ 1,500 & & 2,000 \end{matrix}$	870	
	小計	900	

排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位ミリメートル)	延長 (単位メートル)	摘要
沼ノ端第 8 排水区	○2,400	30	
	□ 1,900 × ~ 2,300 × 1,000 2,200	1,020	
	小計	1,050	
沼ノ端第 9 排水区	○ 1,800 ~ 2,000	560	
	□ 2,100 × 2,100	500	
	小計	1,060	
沼ノ端第 10 排水区	□ 1,500 ~ 1,350	80	
	小計	80	
沼ノ端第 12 排水区	□ 1,700 × ~ 2,500 × 1,000 1,200	1,220	
	小計	1,220	
沼ノ端第 13 排水区	○ 1,350 ~ 1,500	60	
	小計	60	
沼ノ端第 14 排水区	○ 1,500 ~ 2,000	540	
	□ 1,600 × ~ 1,650 × 1,400 1,650	220	
	小計	760	
沼ノ端第 15 排水区	○1,350	280	
	□ 1,200 × 1,200	10	
	小計	290	

排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位ミリメートル)	延長 (単位メートル)	摘要
沼ノ端第 16 排水区	□ 1,500 × ~ 1,800 × 1,350 1,700	650	
	小計	650	
沼ノ端第 19 排水区	○ 1,200 ~ 2,400	2,590	
	□ 2,300 × 1,700	820	
	小計	3,410	
明野第 3 排水区	○ 1,650 ~ 2,400	1,730	
	小計	1,730	
明野第 4 排水区	○ 1,650 ~ 2,200	1,510	
	小計	1,510	
明野第 5 排水区	○ 1,650 ~ 2,600	1,780	
	小計	1,780	
明野第 6 排水区	○2,200	30	
	□ 2,100 × ~ 2,500 × 1,200 1,520	1,980	
	小計	2,010	
一本松第 1 排水区	○1,350	320	
	□ 1,200 × 1,200	10	
	小計	330	

排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位ミリメートル)	延長 (単位メートル)	摘要
一本松第2排水区	○2,400	110	
	□ 2,200 × ~ 3,400 1,080 1,260	2,160	
	小計	2,270	
汐見町第1排水区	○ 1,200 ~ 1,500	260	
	小計	260	
勇払川第1排水区	□ 1,600 × 1,100	30	
	小計	30	
勇払川第2排水区	○1,350	130	
	□ 1,400 × ~ 1,700 1,400 1,400	170	
	小計	300	
苫小牧川第1排水区	○2,000	130	
	○ 1,000 ~ 1,100	280	
	□ 2,200 × ~ 2,600 1,600 2,000	550	
	□ 1,950 × ~ 2,500 1,365 2,500	760	
	小計	680 1,040	
苫小牧川第2排水区	□ 2,400 × ~ 2,600 1,600 1,800	510	
	小計	510	

排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位ミリメートル)	延長 (単位メートル)	摘要
苦小牧川第3排水区	○ 1,200 ~ 1,500	1,030	
	□ 2,000 ~ 3,200 × ~ × 1,300 2,000	1,750	
	小計	2,780	
苦小牧川第4排水区	○1,350	20	
	小計	20	
中央第1排水区	○ 900 ~ 2,000	1,340	
	□ 2,100 ~ 4,500 × ~ × 1,200 2,000	130	
	小計	1,470	
中央第2排水区	□ 4,000 × 1,500	50	
	小計	50	
合計		57,290 57,650	

※降雨確率年は、10年確率と5年確率が併用されている。

(第5表)

処 理 施 設 調 書								
終末処理場等の名称	位置	敷地面積(単位クタール)	計画放流水質	処理方法	処理能力(単位立方メートル)		計画処理人口	摘要
					晴天日最大	雨天日最大		
高砂下水処理センター	苦小牧市高砂町1丁目	2.08	生物化学的酸素要求量 15.0 mg/L 以下	標準活性汚泥法	33,600	108,000	53,130 人 46,800 人	計画下水量(日最大) 全体計画 25,632 m ³ /日 22,514 m ³ /日 事業計画 25,632 m ³ /日 24,504 m ³ /日 分流式、一部合流式 計画処理人口 全体計画 53,130 人 42,980 人 流入下水の予定水質 BOD 200 mg/L 180 mg/L SS 200 mg/L 180 mg/L 放流水の予定水質 BOD 15 mg/L 以下 SS 40 mg/L 以下
西町下水処理センター	苦小牧市元町3丁目	3.30	生物化学的酸素要求量 15.0 mg/L 以下	標準活性汚泥法	28,240	137,000	72,900 人 77,690 人	計画下水量(日最大) 全体計画 26,629 m ³ /日 25,647 m ³ /日 事業計画 26,629 m ³ /日 27,887 m ³ /日 分流式、一部合流式 計画処理人口 全体計画 72,900 人 71,350 人 流入下水の予定水質 BOD 250 mg/L 210 mg/L SS 250 mg/L 160 mg/L 放流水の予定水質 BOD 15 mg/L 以下 SS 40 mg/L 以下
勇払下水処理センター	苦小牧市字勇払	5.25	生物化学的酸素要求量 15.0 mg/L 以下	標準活性汚泥法 及び オキシデーションディッチ法	12,170 17,700	—	29,010 人 33,860 人	計画下水量(日最大) 全体計画 12,162 m ³ /日 13,154 m ³ /日 事業計画 11,042 m ³ /日 14,144 m ³ /日 分流式 計画処理人口 全体計画 29,310 人 31,140 人 流入下水の予定水質 BOD 200 mg/L 220 mg/L SS 200 mg/L 170 mg/L 放流水の予定水質 BOD 15 mg/L 以下 SS 40 mg/L 以下

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
高砂下水処理センター	沈砂池	2池 (1池予備)	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 353 m ³ /m ² /日 304 m ³ /m ² /日 滞留時間 60秒 63秒	2/2(既2)
	主ポンプ設備	3台 (1台予備)	渦巻ポンプ	揚水量 28.00 m ³ /分 揚程 8.5 m	3/3(既3)
	最初沈殿池	2池 残り4地は合流改善対策上必要	鉄筋コンクリート造	(中央第一系統) 水面積負荷 24 m ³ /m ² /日 沈殿時間 1.7時間	2/2(既6)
		3池 残り1池は合流改善対策上必要	鉄筋コンクリート造	(汐見ポンプ場系統) 水面積負荷 30 m ³ /m ² /日 29 m ³ /m ² /日 沈殿時間 2.0時間 2.1時間	3/3(既4)
	エアレーションタンク	3池	鉄筋コンクリート造	エアレーション時間 8.7時間 9.1時間 BOD-SS負荷 0.23 kgBOD/kgSS・日 0.20 kgBOD/kgSS・日	3/3(既3)
	最終沈殿池	3池 残り1池は合流改善対策上必要	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 24 m ³ /m ² /日 23 m ³ /m ² /日 沈殿時間 3.0時間 3.1時間	3/3(既4) 他に躯体 1池整備済
	雨水滞水池	1池	鉄筋コンクリート造 最終沈殿池躯体のみ施設を活用		1/1(既1)
	消毒タンク	3池	鉄筋コンクリート造	接触時間 25.3分 26.4分	3/3(既3)
	汚泥貯留タンク	2池	鉄筋コンクリート造	滞留時間 (生汚泥系統1池) 19.8時間 滞留時間 (余剰汚泥系統1池) 6.1時間 9.2時間	2/2(既2)
	汚泥圧送ポンプ設備	4台	汚泥ポンプ		4/4(既4)
	汚泥圧送管	2系列	ダクタイル鑄鉄管	生汚泥系統 1系列 余剰汚泥系統 1系列	2/2(既2)
	管理本館棟	1棟	鉄筋コンクリート造		1/1(既1)

終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
町 下水処理 センター	沈砂池	2池	鉄筋コンクリート造	(西部幹線系統) 水面積負荷 $253 \text{ m}^3/\text{m}^2/\text{日}$ $192 \text{ m}^3/\text{m}^2/\text{日}$ 滞留時間 72 秒 81 秒	2/2(既2) 部分分流化 完了まで活用
		3池	鉄筋コンクリート造	(糸井幹線系統) 水面積負荷 $657 \text{ m}^3/\text{m}^2/\text{日}$ $607 \text{ m}^3/\text{m}^2/\text{日}$ 滞留時間 55 秒 57 秒	3/3(既3)
	主ポンプ 設 備	5台	渦巻ポンプ	(西部幹線系統) 揚水量 $82.00 \text{ m}^3/\text{分}$ 揚程 10.5 m	5/5(既5) 部分分流化 完了まで活用
		2台 (1台予備)	水中ポンプ	(遮集幹線系統) 揚水量 $8.40 \text{ m}^3/\text{分}$ 揚程 14.0 m	2/2(既2)
		2台 (1台予備)	水中ポンプ	(遮集幹線系統) 揚水量 $20.40 \text{ m}^3/\text{分}$ 揚程 14.0 m	2/2(既2)
		4台 (1台予備)	渦巻ポンプ	(糸井幹線系統) 揚水量 $66.00 \text{ m}^3/\text{分}$ 揚程 $18.0, 14.0 \text{ m}$	4/4(既4)
	最初沈殿池	4池 残り2池は 合流改善 対策上必要	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 $41 \text{ m}^3/\text{m}^2/\text{日}$ $43 \text{ m}^3/\text{m}^2/\text{日}$ 沈殿時間 1.9 時間 1.8 時間	4/4(既6)
	エアレーション タンク	4池	鉄筋コンクリート造	エアレーション時間 6.5 時間 6.2 時間 BOD-SS 負荷 $0.38 \text{ kgBOD/kgSS}\cdot\text{日}$ $0.42 \text{ kgBOD/kgSS}\cdot\text{日}$	4/4(既4)
	最終沈殿池	5池 残り3池は 合流改善 対策上必要	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 $26 \text{ m}^3/\text{m}^2/\text{日}$ $27 \text{ m}^3/\text{m}^2/\text{日}$ 沈殿時間 2.6 時間 2.5 時間	5/5(既8)
	消毒タンク	1池	鉄筋コンクリート造	接触時間 21.3 分 20.3 分	1/1(既1)
	重力濃縮 タンク	2池 (1池予備)	鉄筋コンクリート造	固形物負荷 $54.7 \text{ kg/m}^2/\text{日}$ $52.7 \text{ kg/m}^2/\text{日}$ 濃縮時間 14.8 時間 15.4 時間	2/2(既2)
	汚泥消化 タンク	4槽 (2槽予備)	鉄筋コンクリート造 嫌気性加湿式消化	消化日数 33 日 34 日	4/4(既6)
	ガスタンク	1槽	鋼板製	貯留時間 15.2 時間 15.7 時間	1/1(既3)
	汚泥脱水機	1台	遠心脱水機	脱水能力 $20 \text{ m}^3/\text{時}\cdot\text{台}$	1/1(既1)
		1台	遠心脱水機	脱水能力 $40 \text{ m}^3/\text{時}\cdot\text{台}$	1/1(既1)
	汚泥処理棟	2棟	鉄筋コンクリート造		2/2(既2)
管理本館棟	1棟	鉄筋コンクリート造		1/1(既1)	

終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
勇 弘 下 水 処 理 セ ン タ ー	沈 砂 池	2 池 (1 池予備)	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 $723 \text{ m}^3/\text{m}^2/\text{日}$ $1,158 \text{ m}^3/\text{m}^2/\text{日}$ 滞留時間 14 秒 11 秒	2/2(既2)
	主 ポ ン プ 設 備	2 台 (1 台予備)	水中ポンプ	揚水量 $1.70 \text{ m}^3/\text{分}$ 揚程 10.0 m	2/2(既2)
	最 初 沈 殿 池	2 池 3 池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 $43 \text{ m}^3/\text{m}^2/\text{日}$ $38 \text{ m}^3/\text{m}^2/\text{日}$ 沈殿時間 1.7 時間 2.0 時間	2/2(既2) 3/3(既2)
	エ ア レ ー シ ョ ン タ ン ク	2 池 3 池	鉄筋コンクリート造	エアレーション時間 7.3 時間 8.4 時間 BOD-SS 負荷 $0.27 \text{ kgBOD/kgSS}\cdot\text{日}$ $0.26 \text{ kgBOD/kgSS}\cdot\text{日}$	2/2(既2) 3/3(既2)
	最 終 沈 殿 池	2 池 3 池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 $17 \text{ m}^3/\text{m}^2/\text{日}$ $15 \text{ m}^3/\text{m}^2/\text{日}$ 沈殿時間 2.9 時間 3.3 時間	2/2(既2) 3/3(既2)
	オキシデーシ ョ ン デ ィ ッ チ	1 池	鉄筋コンクリート造	エアレーション時間 24.0 時間 BOD-SS 負荷 $0.05 \text{ kgBOD/kgSS}\cdot\text{日}$ $0.06 \text{ kgBOD/kgSS}\cdot\text{日}$	1/1(既3)
	沈 殿 池	1 池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 $7 \text{ m}^3/\text{m}^2/\text{日}$ 沈殿時間 4.4 時間	1/1(既3)
	汚 水 調 整 池	2 池	鉄筋コンクリート造 既存の OD 槽と沈殿池の一部を 汚水調整池として活用		2/2(既2)
	消 毒 タ ン ク	4 池 (3 池予備)	鉄筋コンクリート造	接触時間 23.3 分 18.2 分	4/4(既7)
	重 力 濃 縮 タ ン ク	2 池 (1 池予備)	鉄筋コンクリート造	固形物負荷 $53.3 \text{ kg/m}^2/\text{日}$ $55.4 \text{ kg/m}^2/\text{日}$ 濃縮時間 20.8 時間 20.1 時間	2/2(既2)
	汚 泥 貯 留 槽	1 池	鉄筋コンクリート造 既存の沈殿池の一部を 汚泥貯留槽として活用		
	汚 泥 脱 水 機	2 台 (1 台予備)	遠心脱水機	脱水能力 $10 \text{ m}^3/\text{時}\cdot\text{台}$	2/2(既一)
	コ ン ポ ス ト 化 施 設	2 棟	鉄筋コンクリート造 鉄骨造	処理量 $6.50 \text{ m}^3/\text{日}$	2/2(既3)
	汚 泥 処 理 棟	1 棟	鉄筋コンクリート造		1/1(既一)
管 理 本 館 棟	2 棟	鉄筋コンクリート造		2/2(既2)	

※重力濃縮タンク 1 池は更新時まで活用する。

(第6表)

ポンプ施設調書						
ポンプ施設の名称	処理区 の名称	ポンプ施設の位置	敷地面積 (単位アール)	1 分間の揚水量 (単位立方メートル)		摘要
				晴天時最大	雨天時最大	
汐見町中継ポンプ場	高砂 処理区	苫小牧市汐見町 2丁目10番3号	39.7	22.22 18.42	53.26 44.65	分流汚水、一部合流 部分分流化達成後は 雨天時最大 31.04 雨天時最大 26.02
幌内川中継ポンプ場	高砂 処理区	苫小牧市柳町 4丁目17番11号	13.0	9.07 9.79	—	分流汚水
明野中継ポンプ場	高砂 処理区	苫小牧市新開町 2丁目4番7号	2.8	2.15 2.10	—	分流汚水
糸井中継ポンプ場	西町 処理区	苫小牧市川沿町 1丁目3番20号	16.5	11.45 10.54	—	分流汚水
錦岡中継ポンプ場	西町 処理区	苫小牧市青雲町 3丁目4番10号	15.0	3.46 3.55	—	分流汚水
沼ノ端中継ポンプ場	勇払 処理区	苫小牧市字沼ノ端 134番地	18.0	11.11 12.96	—	分流汚水
ウトナイ中継ポンプ場	勇払 処理区	苫小牧市ウトナイ南 5丁目2番	12.9	4.75 5.71	—	分流汚水
ポンプ施設の施設内の主要な施設						
ポンプ施設の名称	主要な施設 の名称	数	構造	能力	摘要	
汐見中継ポンプ場	汚水 ポンプ	5台	渦巻ポンプ 口径φ 250mm×2台 口径φ 300mm×1台 口径φ 500mm×2台	(分流+合流系統) 揚水量= 7.00 m ³ /分, H=10.4 m 揚水量=11.00 m ³ /分, H=10.4 m 揚水量=28.00 m ³ /分, H=10.4 m	既2台 既1台 既2台 内予備1	
	汚水 ポンプ	3台	水中ポンプ 口径φ 350mm×3台	(分流系統) 揚水量=15.00 m ³ /分, H= 6.5 m	既3台 内予備2	
幌内川中継ポンプ場	汚水 ポンプ	4台	渦巻ポンプ 口径φ 150mm×2台	揚水量= 3.30 m ³ /分, H=13.5 m	既2台	
			口径φ 250mm×2台	揚水量= 9.00 m ³ /分, H=13.5 m	既1台 内予備1	
明野中継ポンプ場	汚水 ポンプ	2台	渦巻ポンプ 口径φ 200mm×2台	揚水量= 4.60 m ³ /分, H=25.0 m (H=13.0 m)	既2台 内予備1	
糸井中継ポンプ場	汚水 ポンプ	2台	スクリューポンプ 口径φ 1,100mm×2台	揚水量=14.32 m ³ /分, H= 4.8 m	既3台 内予備1	
錦岡中継ポンプ場	汚水 ポンプ	3台	渦巻ポンプ 口径φ 150mm×2台	揚水量= 2.26 m ³ /分, H=16.0 m	既2台	
			口径φ 300mm×1台	揚水量= 7.1 m ³ /分, H=16.0 m	既1台 内予備1	
沼ノ端中継ポンプ場	汚水 ポンプ	6台	渦巻ポンプ 口径φ 200mm×2台	揚水量= 3.00 m ³ /分, H=35.0 m	既2台 内予備1	
			水中ポンプ 口径φ 200mm×2台	揚水量= 3.00 m ³ /分, H=26.0 m	既2台	
			口径φ 250mm×2台	揚水量= 5.90 m ³ /分, H=26.0 m	既2台 内予備1	
ウトナイ中継ポンプ場	汚水 ポンプ	2台	水中ポンプ 口径φ 200mm×2台	揚水量= 5.20 m ³ /分, H= 6.0 m	未整備 内予備1	

※上記の各ポンプ場の汚水ポンプの内、以下に示す施設は更新まで既存施設を活用する。

糸井中継ポンプ場 スクリューポンプ φ1,100mm×1台

(第7表)

貯留施設調書				
処理区の名称	主要な貯留施設の名称	主要な貯留施設の位置	貯留能力 (単位立方メートル)	摘要
高砂処理区	管内貯留堰 T1	苫小牧市汐見町 1丁目2番	330	合流式下水道緊急改善 質的対策
高砂処理区	管内貯留堰 T2	苫小牧市元中野町 1丁目6番	150	合流式下水道緊急改善 質的対策
高砂処理区	管内貯留堰 T3	苫小牧市元中野町 2丁目9番	180	合流式下水道緊急改善 質的対策
西町処理区	管内貯留堰 Njo	苫小牧市啓北町 2丁目11番	10	合流式下水道緊急改善 質的対策
西町処理区	管内貯留堰 Ntu1	苫小牧市啓北町 1丁目6番	20	合流式下水道緊急改善 質的対策
西町処理区	管内貯留堰 Nka1	苫小牧市新富町 1丁目1番、2番	180	合流式下水道緊急改善 質的対策
西町処理区	管内貯留堰 Nka2	苫小牧市弥生町 2丁目4番	120	合流式下水道緊急改善 質的対策
西町処理区	管内貯留堰 Nka3	苫小牧市北光町 2丁目7番	160	合流式下水道緊急改善 質的対策
西町処理区	管内貯留堰 Nka4	苫小牧市花園町 4丁目8番	120	合流式下水道緊急改善 質的対策

2. 苫小牧市公共下水道事業計画変更 様式 1

(様式1) 施設の整備に関する方針

主要な施策	整備水準				事業の重点化・効率化の方針	中期目標を達成するための主要な事業	備考	
	指標等		現在 (令和6年度末)	中期 目標 (令和16年度末)				長期 目標
汚水処理	下水道 処理人口普及率		99.4%	99.4%	99.4%	宅地張り付き状況に応じて、汚水整備を進める。	-	全道みな下水道構想4アクションプランR22年度値に基づく。
	管路施設 (管渠)	緊急度Ⅰの延長 (令和6年度時点：426mのうち)	426m	0m	0m	維持管理上の定期的な点検を継続していく。	-	※維持管理情報の電子化を図り、その情報を蓄積・活用することでマネジメントサイクルを確立する。
	管路施設 (マンホール)	緊急度Ⅰのマンホール箇所数 (令和6年度時点：0箇所のうち)	0箇所	0箇所	0箇所	維持管理上の定期的な点検を継続していく。	-	※維持管理情報の電子化を図り、その情報を蓄積・活用することでマネジメントサイクルを確立する。
	下水処理場	「中分類相当」の健全度2以下の施設数 (令和6年度時点：3施設のうち)	3施設	0施設	0施設	人口減少等の社会情勢の変化を踏まえ、他事業と調整し、ストックマネジメント計画に基づき施設の健全性を維持していく。	下水処理センター改築更新事業	※維持管理情報の電子化を図り、その情報を蓄積・活用することでマネジメントサイクルを確立する。
	ポンプ場	「中分類相当」の健全度2以下の施設数 (令和6年度時点：4施設)	4施設	0施設	0施設	人口減少等の社会情勢の変化を踏まえ、他事業と調整し、ストックマネジメント計画に基づき施設の健全性を維持していく。	中継ポンプ場改築更新事業	-
浸水対策	都市浸水対策達成率	ハード 降雨強度 33.7mm/hr 53.6mm/h	76.5%	78.0%	100.0%	【ハード整備方針】 降雨確率年を10年とし、随時整備を進める。	降雨確率10年の対象排水区を中心に実施を進める。	局地的大雨に伴う浸水被害が発生。
		ソフト 想定最大規模降雨130mm/hr 既往最大126.0mm/hr S25.8.1(胆振)	0.0%	100.0%	100.0%	【ソフト整備方針】 雨水出水浸水想定区域図作成済み。R7年度公表予定。		局地的大雨に伴う浸水被害が発生。

主要な施策	整備水準				事業の重点化・効率化の方針	中期目標を達成するための主要な事業	備考		
	指標等		現在 (令和6年度末)	中期目標 (令和16年度末)				長期目標	
耐水化	水害時における機能確保率	処理場	揚水機能が確保された施設数(管理棟、ポンプ棟):3	0.0% (0)	66.7% (2)	100.0% (3)	老朽化対策等と調整を図り、苦小牧市公共下水道施設耐水化計画に基づき耐水化を実施していく。	苦小牧市公共下水道施設耐水化事業	-
			沈殿機能が確保された水処理系列数(水処理棟):3	0.0% (0)	66.7% (2)	100.0% (3)			
			汚泥処理機能が確保された施設数(汚泥処理棟):1	0.0% (0)	100.0% (1)	100.0% (1)			
	ポンプ場(汚水)	揚水機能が確保された施設数(管理ポンプ棟):4	25.0% (1)	100.0% (4)	100.0% (4)	老朽化対策等と調整を図り、苦小牧市公共下水道施設耐水化計画に基づき耐水化を実施していく。	苦小牧市公共下水道施設耐水化事業	-	
	ポンプ場(雨水)	揚水機能が確保された施設数(ポンプ棟):-	-	-	-	該当なし	-	-	
耐震化	災害時における機能確保率	重要な幹線		32.1%	48.2%	100.0%	人命確保を最優先とし、有人施設や倒壊による周辺被害の大きい施設の耐震化を図る。また、老朽化している施設が多く、改築の時期も迫っていることから改築と同時に耐震化を図り効率的に事業に取り組む。	下水道改良工事	-
		下水処理場		0.0%	33.3%	100.0%		西町滅菌池耐震化対策工事	-
		ポンプ場		16.7%	100.0%	100.0%		糸井中継ポンプ場耐震化対策工事	-
高度処理	高度処理実施率		-	-	-	該当なし	-	-	
合流式下水道の改善	(特定水域合流式下水道改善事業計画を定めている場合に記載) 特定水域における合流式下水道の改善に対する整備割合		-	-	-	該当なし	-	-	
汚泥の再生利用	(肥料又は燃料として有効活用された場合に記載) 下水道汚泥肥料利用率 ※コンポスト等により肥料として利用された汚泥量、リン回収の対象又は液肥製造の原料となった汚泥量の割合		32.0%	32.8%	34.0%	民間肥料化により再生利用しており、今後も継続していく。	-	残りは建設資材利用	
	下水道バイオマスをリサイクル率 ※下水道汚泥の有機分がエネルギー利用又は緑農地利用された割合		31.0%	31.8%	33.0%	緑農地利用しており、今後も継続していく。	-	-	
その他	マンホールトイレの整備基數		-	-	-	-	-	-	

3. 苫小牧市公共下水道事業計画変更 様式2

(様式 2) 施設の機能の維持に関する方針

a) 主要な施設に係る主な措置

i) 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

主要な施設	点検・調査の頻度	摘要
管渠施設	<ul style="list-style-type: none"> 施設の重要度に応じて、概ね5～30年に一回点検を実施。 点検の結果、異状の可能性がある箇所について詳細調査を実施。 腐食環境下の施設は、10年に一度詳細調査を実施。 一般環境下の最重要、重要施設は、10～15年に一度、詳細調査を実施。 	
管渠施設 (被災時緊急点検方法または今後の方針)	<ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送路埋設管渠等の重要な幹線を優先的に緊急調査する方針とする。 	
汚水ポンプ施設 (ポンプ本体)	<ul style="list-style-type: none"> 年1回点検を実施。異状を確認した場合、一次調査を実施。 設置後10年以上経過した資産を対象に、5年に一度、二次調査を実施。 	
水処理施設 (送風機本体)	<ul style="list-style-type: none"> 年1回点検を実施。異状を確認した場合、一次調査を実施。 設置後10年以上経過した資産を対象に、5年に一度、二次調査を実施。 	
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	<ul style="list-style-type: none"> 年1回点検を実施。異状を確認した場合、一次調査を実施。 設置後10年以上経過した資産を対象に、3年に一度、二次調査を実施。 	

ii) 診断結果を踏まえた修繕・改築の判断基準

主要な施設	修繕・改築の判断基準
管渠施設のストックマネジメント 計画策定状況	<ul style="list-style-type: none"> ストックマネジメント計画を平成29年度に策定。 令和2年度 修繕・改築計画を策定。令和5年度 修繕・改築計画2期目を策定
管渠施設	<ul style="list-style-type: none"> 緊急度Ⅲの施設を修繕対象、緊急度Ⅰ及びⅡの施設を重要度に応じて改築対象とする。
ポンプ施設のストックマネジメント 計画策定状況	<ul style="list-style-type: none"> ストックマネジメント計画を平成29年度に策定。 平成30年度 修繕・改築計画を策定。令和4年度 修繕・改築計画2期目を策定
汚水ポンプ施設 (ポンプ本体)	<ul style="list-style-type: none"> 健全度3の施設を修繕対象、健全度2以下の施設を改築対象とする。
処理施設のストックマネジメント 計画策定状況	<ul style="list-style-type: none"> ストックマネジメント計画を平成29年度に策定。 平成30年度 修繕・改築計画を策定。令和4年度 修繕・改築計画2期目を策定
水処理施設 (送風機本体)	<ul style="list-style-type: none"> 健全度3の施設を修繕対象、健全度2以下の施設を改築対象とする。
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	<ul style="list-style-type: none"> 健全度3の施設を修繕対象、健全度2以下の施設を改築対象とする。

iii) 改築事業の概要(令和6年度～令和10年度)

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	<ul style="list-style-type: none"> φ200～2700×1600mm
汚水ポンプ施設	<ul style="list-style-type: none"> 汚水ポンプ（高砂下水処理センター）
水処理施設 (送風機本体)	<ul style="list-style-type: none"> ブロワ（西町下水処理センター）
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	<ul style="list-style-type: none"> 期間内予定なし

b) 施設の長期的な改築の需要見通し

改築の需要見通し (年当たりの概ねの事業規模の試算)	試算の対象時期	試算の前提条件
年あたり概ね17億円	概ね50年後	【管路施設】 ・中期整備計画を基に算出 (8億円/年) 【ポンプ・処理施設】 ・中期整備計画を基に算出 (9億円/年)

c) 広域化・共同化等の見通し

広域化・共同化の見通し	広域化・共同化の概要および方針
周辺自治体との広域化	・令和8年度 広域化計画策定予定。
他事業との連携 (MICS)	・予定なし
民間企業との連携の見通し (包括委託等)	・ウォーター P P P の導入について検討中
災害時における民間企業との連携 (BCP策定、緊急時協定状況等)	・BCP策定済(随時見直しを行う) ・災害時における下水道施設の支援協力に関する協定締結 北海道一括協定で「公益社団法人日本下水道管路管理業協会」及び「一般社団法人 全国上下水道コンサルタント協会北海道支部」と締結。

4. 苫小牧市公共下水道事業計画変更 様式 3

(様式3) 財政計画書

(単位：千円)

年次	イ 経費の部								
	建設改良費					起債元利償還費	維持管理費	その他	合計
	管渠	ポンプ場	処理場	計	うち 用地費				
令和6年 まで	107,511,953 106,759,683	7,644,018 7,567,313	32,079,977 31,016,550	147,235,948 145,343,546		101,518,276 101,600,501	113,599,714 113,438,132		362,353,938 360,382,179
令和7年	1,680,582 1,663,956	70,000 80,000	830,000 450,000	2,580,582 2,193,956		2,007,743 2,431,599	4,608,265 4,212,013		9,196,590 8,837,568
令和8年	1,612,056	80,000	630,000	2,322,056		2,321,552	4,244,162		8,887,770
令和9年	1,612,056	80,000	630,000	2,322,056		2,229,452	4,273,815		8,825,323
令和10年	1,612,056	80,000	630,000	2,322,056		2,123,455	4,295,706		8,741,217
令和11年	1,612,056	80,000	630,000	2,322,056		2,003,130	4,326,607		8,651,793
令和12年	1,612,056	80,000	630,000	2,322,056		1,991,187	4,354,680		8,667,923
小計	109,192,535 116,483,919	7,714,018 8,047,313	32,909,977 34,616,550	149,816,530 159,147,782		103,526,019 114,700,876	118,207,979 139,145,115		371,550,528 412,993,773
R8～R37						38,300,281	142,640,532		180,940,813
R13～R42						26,241,106	143,694,444		169,935,550
合計	109,192,535 116,483,919	7,714,018 8,047,313	32,909,977 34,616,550	149,816,530 159,147,782		141,826,300 140,941,982	260,848,511 282,839,559		552,491,341 582,929,323

記載要領

1. 流域関連公共下水道は、「建設改良費」の欄に建設費負担金、「維持管理費」の欄に管理運営費負担金を含む。
2. 「起債元利償還費」の欄には、企業債取扱諸費を含む。

(単位：千円)

年次	ロ 財源の部										
	建設改良費					維持管理費及び起債元利償還費					合計
	国費	起債	他会計繰入金	受益者分担金	その他	計	下水道使用料	他会計繰入金	その他	計	
令和6年 まで	50,806,107 50,489,664	82,893,360 81,639,560	6,796,802 6,441,595	6,739,679 6,772,727		147,235,948 145,343,546	107,033,152 107,055,338	108,084,838 107,983,295		215,117,990 215,038,633	362,353,938 360,382,179
令和7年	500,000 680,000	1,948,000 1,476,421	132,582 30,535	0 7,000		2,580,582 2,193,956	2,268,229 2,252,570	4,347,779 4,391,042		6,616,008 6,643,612	9,196,590 8,837,568
令和8年	756,500	1,520,213	39,343	6,000		2,322,056	2,242,940	4,322,774		6,565,714	8,887,770
令和9年	756,500	1,506,628	53,928	5,000		2,322,056	2,233,205	4,270,062		6,503,267	8,825,323
令和10年	756,500	1,430,500	131,056	4,000		2,322,056	2,223,575	4,195,586		6,419,161	8,741,217
令和11年	756,500	1,430,500	132,056	3,000		2,322,056	2,213,893	4,115,844		6,329,737	8,651,793
令和12年	756,500	1,430,500	133,056	2,000		2,322,056	2,204,221	4,141,646		6,345,867	8,667,923
小計	51,306,107 54,952,164	84,841,360 90,434,322	6,929,384 6,961,569	6,739,679 6,799,727		149,816,530 159,147,782	109,301,381 120,425,742	112,432,617 133,420,249		221,733,998 253,845,991	371,550,528 412,993,773
R8～R37 R13～R42							64,901,689 61,629,150	116,039,124 108,306,400		180,940,813 169,935,550	180,940,813 169,935,550
合計	51,306,107 54,952,164	84,841,360 90,434,322	6,929,384 6,961,569	6,739,679 6,799,727		149,816,530 159,147,782	174,203,070 182,054,892	228,471,741 241,726,649		402,674,811 423,781,541	552,491,341 582,929,323
下水道使用料 関連事項	接続率：99.8%(令和7年度(令和6年度末値)：初年度) → 99.9%(令和12年度：最終年度)										
	講じる対策：現在までと同様に下水道接続に対する啓蒙活動を継続する。										
	有収率：76.1%(令和7年度(令和6年度末値)：初年度) → 77.0%(令和12年度：最終年度)										
	講じる対策：引き続き管渠の維持管理を行い、有収率が低下しないよう適切に維持管理を行い、老朽化により不明水流入が増加しないよう、計画的に管渠の修繕・改築を進めて、現状維持に努める。										
その他の講じる対策：持続的に安定した下水道サービスを提供していくためには、経営の現況把握を行うと将来の見通しを明らかにし、経営基盤強化への取り組みが重要であるため、今後も長期的な視点に立った、下水道経営を継続する。											

記載要領

- 「建設改良費」の「その他」の欄には、工事費負担金、都道府県補助金等を記載する。なお、流域下水道は建設費負担金を含んで記載する。
- 「維持管理費及び起債元利償還費」の「その他」の欄には、都道府県補助金、積立金取り崩し額等を記載する。なお、流域下水道は管理運営費負担金を含んで記載する。
- 下水道使用料については、最近の有収水量の動向、国立社会保障・人口問題研究所等による人口・世帯数の見通し、企業立地の見通し等を踏まえた上で算定すること。
- 「下水道使用料関連事項」の講じる対策の記載にあたっては、「下水道経営改善ガイドライン(平成26年6月、国土交省・(公社)日本下水道協会)」等も必要に応じて参照すること。
- 「下水道使用料関連事項」の「その他の講じる対策」の欄には、例えば、下水道使用料の見直し検討や徴収対策の取組について記載する。